

令和 5 年度

運営に関する計画

大阪市立生魂小学校

大阪市立生魂小学校 令和5年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

1 学校運営の中期目標

現状と課題

《全般》

令和2年度から続く新型コロナウイルス感染症拡大の影響は、様々な活動が制限されたことにより子どもたちの成長に大きな影響を与えている。例えば運動能力の低下だけでなく、運動能力のバランスにも偏りがみられるようになり、保健室の来室者数の経年比較では、昨年度増加傾向がみられた。併せて、友だちとの関りを始めとする、子どもたちの内面といった目に見えない部分からも子どもたちの成長に大きな影響が見られた。

一方、ICTを活用した学習の進化や行事の精選、業務の効率化を図る工夫など、コロナ禍だからこそ改善され、学校運営に大きく変化をもたらしたところもあった。

コロナ禍での経験を活かしながら、基礎学力・体力の向上、自己肯定感、自己効力感の育成に向け、新しい生活様式にあわせた学習活動を計画的に実践していく。

※昨年度の全市共通目標、学校目標の達成状況

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

- ・令和4年度 学校評価アンケートにおいて「学校でのきまりを守っている」の項目について、「よくあてはまる(ややあてはまる)」と答えた児童の平均割合は、93.1%であった。保護者アンケートによる「学校の決まりや社会のルールが守れている」の肯定的回答が94.9%であったことから、児童のみならず保護者の意識の高まりが窺えた。
- ・令和4年度 学校評価アンケートにおいて「将来の夢や目標がある」の項目について、「よくあてはまる(ややあてはまる)」と答えた児童の平均割合は、令和3年度の81.8%から84.3%と増加した。また、「係や当番の活動をしっかりやっている」の項目について、「よくあてはまる(ややあてはまる)」と答えた児童の平均割合は96.4%であった。このことから児童の自己有用感の高まりが窺える。
- ・令和4年度 学校評価アンケートにおいて「学校へ来るのは楽しい」の項目について、「よくあてはまる(ややあてはまる)」と答えた児童の平均割合は93.8%であった。保護者アンケートによる「学校へ元気に通っている」の肯定的回答が98.1%であったことから、本校学校教育への理解が窺えた。
- ・小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合は77.7%であった。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

- ・令和4年度の小学校学力経年調査における平均正答率を見ると、いずれの学年においても大阪市平均を優に超える結果であった。しかしながら領域によっては、正答率にばらつきが見られ、定着には課題の分析が必要であり、適切な手立てを講じる必要が窺えた。

- ・令和4年度学校評価アンケートにおいて「学習することは楽しい」の項目について、「よくあてはまる(ややあてはまる)」と答えた児童の平均割合は90.3%であった。保護者アンケートによる「学習の基礎・基本が身についている」の肯定的回答が90.7%であった。しかし、保護者アンケートによる「家庭で学習する習慣が身についている」の肯定的回答が83.7%であることから、主体的に学ぼうとする児童の育成が課題である。
- ・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合は38.6%であった。対話を通じて自分の考えを深めたり、広げたりすることができていることを実感できるように指導を工夫する必要が窺えた。
- ・小学校学力経年調査における「外国語(英語)の勉強は好きですか」の項目について、「よくあてはまる(ややあてはまる)」と答えた児童の平均割合は72%であった。児童が学習に主体的に臨めるように指導を工夫する必要が窺えた。
- ・小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合は69.3%であった。対話を通じて自分の考えを深めたり、広げたりすることができていることを実感できるように指導を工夫する必要が窺えた。
- ・令和4年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、男女の違いはあるものの、総じて柔軟性と持久力に課題が窺えた。コロナ禍で様々な運動制限や外であそぶ機会が減少していることから、運動に興味をもって取り組めるような機会を増やしていく必要がある。

令和7年度目標

【安心・安全な教育の推進】

- ・令和7年度の調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を全国平均以上にする。
(施策1 安心・安全な教育環境の実現)
- ・令和7年度の調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」「自分には良いところがありますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を全国平均以上にする。
(施策2 豊かな心の育成)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・令和7年度の調査において、全国学力・学習状況調査における平均正答率の対全国比を全国平均以上にする。
(施策4 誰一人取り残さない学力の向上)
- ・令和7年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査における体力合計点の対全国比を全国平均以上にする。
(施策5 健やかな体の育成)

【学びを支える教育環境の充実】

- ・授業日において学習者用端末を毎日使用した学校の割合を100%にする。
(施策6 教育DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進)
- ・教員の勤務時間の上限に関する基準を満たす教職員の割合を「学校園における働き方改革推進プラン」における目標を達成する。
(施策7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり)

中期目標

【安心・安全な教育の推進】

○小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 93%以上にする。

○年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。

○年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。

※ 前年度不登校であった児童のうち不登校の状態が解消された、または不登校状態であっても次の1～3に該当しているなど、総合的な判断により不登校の状態が改善されたとする人数を把握

※ 改善とは、次の状態の場合をいう。

(複数に該当する場合は、最も顕著な項目を選択する。)

1 出席日数の増(学校内外でICT等を活用した学習活動をするることによる出席認定含む)

2 ICTの活用による、本人・保護者と学校がつながる回数が増えた。

3 養護教諭、スクールカウンセラー、教育支援センターなど学校内外の専門的な指導・相談につながるようになった。または、継続してつながるようになった。

○学校アンケートにおける「学校へ来るのが楽しい」という項目に対して、最も肯定的な「よくあてはまる」と回答する児童の割合を 70%以上にする。

○学校アンケートにおける「将来の夢や希望がある」という項目に対して、最も肯定的な「よくあてはまる」と回答する児童の割合を 70%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 60%以上にする。

○小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一集団において経年的に比較しいずれの学年も前年度より 0.5 ポイント向上させる。

○小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 85%以上にする。

○小学校学力経年調査における「外国語(英語)の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 92%以上にする。

○小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を 75%以上にする。

○学校アンケートにおける「学習することが楽しい」という項目に対して、肯定的に回答する児童の割合を 93%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

○ICTの活用に関する目標を設定する。

デジタル教材を活用した朝学習を週1回以上実施する。

○教職員の働き方改革に関する目標を設定する。

年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を80%以上にする。

○学校アンケートにおける「学校・家庭・地域と連携した取り組みを行っている」という項目に対して、肯定的に回答する保護者の割合を 85%以上にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【安心・安全な教育の推進】

全市共通目標（小・中学校）

- 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 88%以上にする。
- 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
- 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。
 - ※ 前年度不登校であった児童のうち不登校の状態が解消された、または不登校状態であっても次の1～3に該当しているなど、総合的な判断により不登校の状態が改善されたとする人数を把握
 - ※ 改善とは、次の状態の場合をいう。
(複数に該当する場合は、最も顕著な項目を選択する。)
- 1. 出席日数の増（学校内外でICT等を活用した学習活動を行うことによる出席認定含む）
- 2. ICTの活用による、本人・保護者と学校がつながる回数が増えた。
- 3. 養護教諭、スクールカウンセラー、教育支援センターなど学校内外の専門的な指導・相談につながるようになった。または、継続してつながるようになった。

学校園の年度目標

- 学校アンケートにおける「学校へ来るのが楽しい」という項目に対して、最も肯定的な「よくあてはまる」と回答する児童の割合を 67%以上にする。
- 学校アンケートにおける「将来の夢や希望がある」という項目に対して、最も肯定的な「よくあてはまる」と回答する児童の割合を 65%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

全市共通目標（小・中学校）

- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 50%以上にする。
- 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を同一母集団において経年的比較しいずれの学年も前年度より 0.2 ポイント向上させる。
- 小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 85%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を 70%以上にする。

学校園の年度目標

- 学校アンケートにおける「学習することが楽しい」という項目に対して、肯定的に回答する児童の割合を 88%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

全市共通目標（小・中学校）

○ＩＣＴの活用に関する目標を設定する。

デジタル教材を活用した朝学習を週１回実施する。

○教職員の働き方改革に関する目標を設定する。

年次有給休暇を１０日以上取得する教職員の割合を 78%以上にする。

学校園の年度目標

●学校アンケートにおける「学校・家庭・地域と連携した取り組みを行っている」という項目に対して、肯定的に回答する保護者の割合を 82%以上にする。

3 本年度の自己評価結果の総括

大阪市立生魂小学校 令和5年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【安全・安心な教育の推進】</p> <p>全市共通目標(小・中学校)</p> <p>○小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 88%以上にする。</p> <p>○年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。</p> <p>○年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。</p> <p>※ 前年度不登校であった児童のうち不登校の状態が解消された、または不登校状態であっても次の1～3に該当しているなど、総合的な判断により不登校の状態が改善されたとする人数を把握</p> <p>※ 改善とは、次の状態の場合をいう。(複数に該当する場合は、最も顕著な項目を選択する。)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.出席日数の増(学校内外でICT等を活用した学習活動を行うことによる出席認定含む) 2.ICTの活用による、本人・保護者と学校がつながる回数が増えた。 3.養護教諭、スクールカウンセラー、教育支援センターなど学校内外の専門的な指導・相談につながるようになった。または、継続してつながるようになった。 <p>学校園の年度目標</p> <p>●学校アンケートにおける「学校へ来るのが楽しい」という項目に対して、最も肯定的な「よくあてはまる」と回答する児童の割合を 67%以上にする。</p> <p>●学校アンケートにおける「将来の夢や希望がある」という項目に対して、最も肯定的な「よくあてはまる」と回答する児童の割合を 65%以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		進捗状況
取組内容①【1 安全で安心な教育環境の実現】 相手の気持ちを大切にし、互いの違いを認め合い、助け合える思いやりの気持ちを育む。 (いじめへの対応/不登校への対応)		
指標 ・年3回、いじめアンケートを実施し、上がった事案について解決する。 ・年3回、いじめについて考える日を設定する。 ・ICT機器等を活用するなど、不登校児童と学期に1度以上はつながる。		
進捗状況	次年度への課題	
取組内容②【1 安全で安心な教育環境の実現】 減災教育や防犯・安全教育などを通して安全を守るために主体的に行動できる力を育成する。 (防災・減災教育の推進/安全教育の推進)		
指標 ・防災学習を他機関と連携し、年に1回実施する。 ・交通安全、不審者等、様々な防犯訓練を年に3回実施する ・高学年で非行防止教室を実施する。		
進捗状況	次年度への課題	
取組内容③【2 豊かな心の育成】 相手の気持ちを大切にし、互いの違いを認め合い、助け合える思いやりの気持ちを育む。 (人権を尊重する教育の推進/多文化共生教育の推進)		
指標 ・様々な人権課題の中から子どもたちの発達段階に応じて年間2つ以上の課題について実践に取り組む。 ・学年に応じて、平和学習に取り組む。		
進捗状況	次年度への課題	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		進捗状況
取組内容④【2 豊かな心の育成】 教員の障がいに対する理解の深化および専門性の向上を図る。 (インクルーシブ教育の推進)		
指標 ・情報の共有を行い理解を深めるために、特別支援教育校内研修会を年間2回以上実施する。 ・外部講師を招いて研修会をもつ。		
進捗状況	次年度への課題	

大阪市立生魂小学校 令和5年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標		達成状況
【未来を切り拓く学力・体力の向上】 全市共通目標(小・中学校) ○小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 50%以上 にする。 ○小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較しいずれの学年も前年度より 0.2ポイント 向上させる。 ○小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。 ○小学校学力経年調査における「外国語(英語)の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 85%以上 にする。 ○小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を 70%以上 にする。 学校園の年度目標 ●学校アンケートにおける「学習することが楽しい」という項目に対して、肯定的に回答する児童の割合を 88%以上 にする。		
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		進捗状況
取組内容①【4 誰一人取り残さない学力の向上】 新学習指導要領のめざす「主体的・対話的で深い学び」の実現をめざした授業づくりを行う。 (「主体的・対話的で深い学び」の推進)		
指標 ・外部講師を招いての研修会や、授業研究会に向けての教材研究会を実施する。 ・国語科の実践授業を年6回以上行い「主体的・対話的で深い学び」について研修・研究を深める。 ・読書タイムや学習の時間等を活用して、週1回以上、読書に取り組む。		
進捗状況	次年度への課題	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		進捗状況
取組内容②【4 誰一人取り残さない学力の向上】		
自ら目標を設定し、自分の力で目標を達成できる子どもの育成を図る。 (言語活動・理数教育の充実)		
指標		
・ 漢字検定試験やタブレットドリル等活用し、週に1回以上、自分の設定した目標に向かって主体的に学習する機会を設ける。		
・ 漢字検定試験8割の合格をめざす。		
・ 理科の学習において、問題解決の力を育成する。		
進捗状況	次年度への課題	
取組内容③【4 誰一人取り残さない学力の向上】		
「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」の英語4技能の育成を図る。 (英語教育の強化)		
指標		
・ 各学年の実態に応じて、英語4技能の育成に向けたカリキュラムを作成する。		
・ 年に1回以上、外部講師を招き研修会を実施する。		
進捗状況	次年度への課題	
取組内容④【5 健やかな体の育成】		
体力・運動能力向上に向け、児童が進んで運動に取り組めるよう、楽しい体育授業づくりや運動環境整備を進める。 (体力・運動能力向上のための取組の推進)		
指標		
・ 子どもたちが楽しく運動に取り組める場の設定や励みカード、「ちょこっと運動」などの工夫を行う。		
・ 子どもの体力・運動能力向上になる取り組みを、年に2回以上実施する。		
進捗状況	次年度への課題	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		進捗状況
取組内容⑤【5 健やかな体の育成】 規則正しい生活習慣を身に付け、健康の保持・増進への意欲を高める。 <div>(健康教育・食育の推進)</div>		
指標 <ul style="list-style-type: none">生活リズムや清潔に対する意識を高めるために、月1回「せいけつしらべ(ハンカチ・ティッシュ・歯みがき等)」学期に1回「元気アップ週間(早寝・早起き・朝ごはん・歯みがき等)」を実施する。健康に関する指導や食育に関する指導を子どもたちの発達段階に応じて学期に1回以上実施する。		
進捗状況 <ul style="list-style-type: none">	次年度への課題 <ul style="list-style-type: none">	

大阪市立生魂小学校 令和5年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標		達成 状況
<p>【学びを支える教育環境の充実】</p> <p>全市共通目標(小・中学校)</p> <p>○ICTの活用に関する目標を設定する。</p> <p>デジタル教材を活用した朝学習を週1回実施する。</p> <p>○教職員の働き方改革に関する目標を設定する。</p> <p>年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を78%以上にする。</p> <p>学校園の年度目標</p> <p>●学校アンケートにおける「学校・家庭・地域と連携した取り組みを行っている」という項目に対して、肯定的に回答する保護者の割合を82%以上にする。</p>		
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		進捗 状況
<p>取組内容①【6 教育DXの推進】</p> <p>1人1台端末の環境を生かし、デジタルドリルや協働学習支援ツールを活用することで子どもの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの実現に向け取り組む (ICTを活用した教育の推進)</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none">・学年の実態に応じ、1人1台端末を効果的に使用した学習を行う。・児童アンケートにおける「1人1台端末を活用した学習は楽しい」という項目に対して、肯定的な割合を90%以上にする。・情報モラル教育を各学年1回実施する。		
進捗状況	次年度への課題	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		進捗状況
取組内容②【7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 教員の働きやすい環境を整備する。(働き方改革の推進)		
指標 ・ 学年や校務分掌等の仕事内容や分担を見直し、昨年度より一人当たりの業務量を減らす。		
進捗状況	次年度への課題	
取組内容③【7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 校内研修体制を整備する。(教員の資質向上)		
指標 ・ 年間研修計画を立て、計画的に校内研修を実施する。		
進捗状況	次年度への課題	
取組内容④【9 家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】 学校・地域・保護者の連携による取り組みを推進する。(教育コミュニティづくりの推進)		
指標 ・ コロナ禍でも実施可能な地域との交流活動を工夫し全学年で1つ以上取り組む。 ・ 各学年の実態に応じて、SDGsを意識した取り組みを進める。		
進捗状況 〈R4年度 学年のSDGsの取り組み〉 1年 ②食品ロスをなくす 2年 ③地域の施設 3年 ③いいところ見つけ 4年 ⑥水について 5年 ②⑩米作り 6年 ひとりひとりのSDGs	次年度への課題	